

## 競技条件・ローカルルール

### 競技規則

#### 1. ゴルフ規則

2019年日本ゴルフ協会ゴルフ規則およびSpeeder Challenge大会ルールを適用する。競技規定に変更もしくは追加がある時は、競技委員会より、開催当日のスタート前に全選手へ告知する。

#### 2. シングルス競技部門

シングルス競技部門は2019年日本ゴルフ協会ゴルフ規則および下記の競技の条件、ローカルルールを適用する。

付属規則 I (C) 競技の条件

1. 使用クラブおよび使用球の仕様

a. 適合ドライバーヘッドリスト掲載の制限 b. 公認球リスト掲載の制限 c. ワンボール条件の採用

#### 3. ダブルス競技部門

ダブルス競技部門はSpeeder Challenge大会ルールおよび下記の競技の条件を適用する。

1. 使用クラブ：「SLEルール適合外品（高反発クラブ）」「2010年新しい溝の規則に適合外品」を使用することができる。

2. 使用ボール：「公認球リスト」「ワンボール条件」は採用しない。

3. その他の規則は2019年日本ゴルフ協会ゴルフ規則に順じて運用する。

#### 4. 距離計測機器の使用（規則4.3a(1)）

距離計測機器（レーザー距離測定器、携帯ナビ使用可※距離のみを測定するもの）の使用を認める。プレーヤーは距離のみを計測する機器を使用することができる。しかし、他の条件（例えば、標高変化、風速、傾斜など）を計測するために距離計測機器を使用した場合、プレーヤーは規則4-3の違反となり、2打の罰。その後、さらに同じ違反（複数回違反）があった場合は、競技失格となる。

※距離計測器が他の条件（例えば、傾斜、風速、気温）を計測できる機能を持っている場合、その機能をOFF（使用できない状態）

にして使用すること。※ 距離計測機器を使用するためにプレーを不当に遅延させてはならない。

#### 5. 練習（規則5.5）

競技者はプレーを終えたばかりのホールのグリーン上やその近くで練習ストロークをしてはならない。これに違反して練習ストロークをした場合、競技者は次のホールで2打罰を加えなければならない。ただしそのラウンドの最終ホールのときは、競技者はそのホールで罰を受ける。但し、ハーフトーンでの待ち時間中は指定練習グリーンでのパッティング練習のみ可とする。プレーを終えたばかりのグリーン上で球を転がすことも禁止する。

#### 6. 打順（ダブルス競技部門）

ダブルス選手権において、スタートホールにおいてのティーショットの打順は組み合わせ表どおりとなり、それ以降はその前のホールのスコアの良かったチームがオナーの権利を持つものとする。チーム内の打順についてはチーム内の任意とすることができる。

#### 7. プレーの中断、プレーの再開（規則5.7）

競技委員会からのアナウンスとする。

#### 8. 不当の遅延；スロープレー（規則5.6）

ラウンド中は常にプレーファーストを心掛けてプレーしなければならない。また、ホールアウト後、次のティーインググラウンドからプレーするまでの間も、プレーを不当に遅らせてはならない。

### ローカル・ルール

- アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
- 修理地は青杭または白線をもってその限界を標示する。
- コース内のすべての池及びクreekは、レッドペナルティエリアとし、赤杭または赤線をもってその限界を標示する。
- コース内に設置されたすべての人工の構築物は、動かすことのできない障害物とする。  
(舗装された道路、排水溝、マンホール、橋、給散水施設、樹木の支柱、階段、固定席、目土容器、表示板、売店設備等)
- 本ルールに定めのない事項は、すべて日本ゴルフ協会ゴルフ規則を適用する。

※ 備考:本ローカルルールに変更または追加があった場合は、クラブハウス内に掲示して告知する

競技委員長：吉川 泰正